

『苦難を乗り越え、持続可能な京都観光の実現を』



公益社団法人 京都市観光協会

会長

田中 誠二

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策と事業活動の両立にご尽力なされていることに、心より敬意を表しますとともに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での感染拡大から、約1年が経過しました。

当協会では、この間、事業者支援の取組として、会員の皆様に対する緊急助成金の交付や、「より一層「安心・安全」な京都観光を実現するための新型コロナウィルス感染症対策宣言（ガイドライン）」を作成し、ステッカーを交付するほか、事業者の皆様への感染症対策を支援するため、オンライン研修や補助金の交付を実施しています。

さらに、ウィズコロナの時代に即した新しいスタイルの京都観光のため、「密」を避けながら特別な京都観光を楽しむ「事前予約で楽しむ京の旅」の紹介や、主催する特別公開事業での事前予約制の導入等を積極的に推進しているところです。

新しい年を迎え、安心・安全な京都観光のため、これらの取組を更に力強く推進していくことはもとより、新たに京都市とともに策定した「京都観光行動基準（京都観光モラル）」の普及と実践により、観光客、市民の皆様、観光事業者の皆様の満足度の向上を図り、「持続可能な国際文化観光都市・京都」の実現に向けて、全力を傾注してまいります。

会員の皆様方のご多幸をお祈り申し上げますとともに、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。年始のご挨拶いたします。

『コロナ禍を乗り越え、京都の明日を共に描きましょう！』



京都市長

かどかわ だいさく
門川 大作

あけましておめでとうございます。

コロナ禍において、感染拡大防止と社会経済活動の両立に多大な御尽力を賜っている皆様に、心から感謝申し上げます。この危機の中で、市民の皆様のいのちと健康、暮らしを守り、しっかりと守る。そして、困難な時こそ京都ならではの「地域力」「市民力」をいかし、新たな課題の解決に挑戦する。昨年は、その決意を新たに、市民ぐるみで行動した一年でした。

本市では、初の感染者が確認された直後から、いのちと健康を最優先に「正しく恐れる」対策を進めてまいりました。さらに影響が長引く中、「雇用を支える」中小企業・地域企業の事業継続を徹底支援。「心を潤す」伝統文化・産業や芸術を担う方々の御活動もサポートしてきたところです。

個人の日常から社会の有様まで大きく変わるウィズコロナ時代。「観光都市」から「観光課題解決先進都市」へ。京都市観光協会とともに新たに作成した「京都観光モラル」で、観光客、事業者、市民の皆様とともに感染防止と地域の豊かさにつながる新しい観光モデルをつくる。本年は、そんな京都の在るべき姿を共に描き、挑戦と改革を進めてまいります。

そして、「誰一人取り残さない」SDGs、持続可能な社会の実現に向け、感染防止、経済回復、環境対応…。これらをしっかりと並立させ、全力を挙げてまいります。

京都の千年の歴史は、あまたの危機を乗り越え、発展してきた歴史。歴史に学び、オール京都で力を合わせ、未来を展望していく決意です。